



「剛志学府」 境西中学校区連携協議会を 11/21(金) に開催しました！

境剛志小学校評議委員と境西中学校運営協議会委員の合同会議を行いました。それぞれの学校の子供達の現状や課題を確認してから、3 班に分かれて班ごとに異なる議題で協議していただきました。この議題は、昨年度開催したこの連携協議会において、委員の皆様方が特に話題にされていた 3 つの視点を軸に設定したものです。

「地域や学校ができることは何か？」委員の皆様方から、それぞれのお立場から忌憚のないご意見や、課題解決に向けたご意見を多数いただき、大変有意義な会議となりました。

(◎良い所 △問題点 ☆課題解決へ向けたご意見)

A 班テーマ

地域と連携した「他者との関わりを広げる機会の創出

◎生徒達は、異世代年齢との関わりを持つため、「2 年生 チャレンジウィーク 職場体験)」を行っている。また、公民館主催事業「夏休みワクワク実験」、花結び教室、「絵画教室」に生徒がアシスタントとして関わっている。子供達は機会を与えると、積極的に取り組んでいる。

◎下校中、「おかえり。」という、「ただいま。」と言ってくれる生徒もいる。

△登校中、「おはよう。」と言っても、ほとんど返事はない。

☆他者との会話は挨拶から始まる。挨拶をしてお互い親しみがわいてくると、地域行事（住民交流会など）に参加の声をかけやすくなるだろう。

☆『心の窓を開けよう』というテーマで、学校の朝礼時間等に、挨拶の大切さを改めて生徒に伝える。

◎今年度の住民交流会には、事前に学校から生徒達に声をかけたところ、1、2 年生が 20 人程参加した。

△昔と違って、それぞれの家庭の生活様式が変わっており、地域の大人同士の交流も減ってきているので、子供と地域が交流できないのは、仕方のないことかもしれない。

☆学校行事は、保護者の方も休みをとってきてくださるので、地域行事と学校行事がコラボレーションして行えれば、子供達と地域の皆さんが触れ合う場がつかれるのではないかな。

☆今まで以上に、公民館と地域、学校が協力して行事等を企画していくと良いのではないかな。

☆大人（教師、保護者、地域住民）が率先して、挨拶を子供達にしていくことが大切である。

B 班テーマ

地域で育む「挨拶と規範意識」の向上策

☆挨拶は誰でも知らない人にするのは難しいことなので、大人から挨拶していくことが大切である。

△放課後学童へ帰る児童が多いので、地域に子供がいらないのが現状であり、なかなか地域の方と触れ合う機会がない。挨拶することもなかなかない。

△昔は地域交流の中で、大人の姿を見て子供達がいさつや地域の伝統などを学んでいたが、その機会もなくなっているようだ。

△スマートフォンを使うようになり、面と向かって会話せず、文字だけで他者とコミュニケーションを済ませる事が多くなってしまった事も、人との関わりが希薄になってしまった要因でもあるだろう。

☆地域行事等で、地域の人と子供達の面識を作っていけば、挨拶につながっていくだろう。





C 班テーマ

小規模校の「強み」を活かした、将来につながる人間関係力（コミュニケーション能力）の育成

◎剛志地区（小規模校）は、先生達が親身になってくれ、子供と先生の信頼関係が強い。実際、高校に進学し壁にぶつかった時に、子供は卒業しても、悩みを先生に相談させてもらっていた。

◎小規模校は、他校に比べるとコミュニケーション能力が低くなってしまうかもしれないが、卒業しても小・中学校に戻って、自分をさらけ出せる、

自分の存在を認めてくれる場所になっており、それが小規模校の「強み」だと思う。また、この安心感があるからこそ、子供達は外へ踏み出す第一歩になるのだろう。

◎親に心配をかけたくない気持ちから、子供は親には相談できなかったが、地域の人が子供の SOS に気付いてくれた事があった。とてもありがたかった。

☆小学校からずっと同じメンバーではあるけれど、学校行事等の体験を通して、新しいコミュニケーション力が芽生えてくるのではないかな。

☆公民館と協力して、地域の行事をもっと盛り上げていくと良いのではないかな。

今回の話し合いでは、どの班からも地域行事についてのご意見がありました。地域で大人と子供の関わりがあれば、地域の人との親しみや安心感が生まれ、自然と挨拶にもつながっていくと思います。

また、地域の方々と学校が、忌憚なく、活発に情報交換や話し合いができるのは、剛志地区だからこそだと思います。まずは大人同士がつながり、次に大人と子供がつながり、地域全体で子供達を育てていける環境を、このまま維持させていただけたらありがたいです。剛志地区の子供達が心身共に健やかに成長できますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

剛志学府（学府連携協議会）から

- ・フードドライブ活動では、136 個（総重量 42.3 kg）が集まり、社会福祉協議会へ搬入してまいりました。物価高の中、地域と小・中学校の皆様が協力して寄付して下さることは、大変ありがたいとお言葉をいただきました。次回は、2 月の中旬頃を予定しています。
- ・例年行っております、「体操服・制服等のリサイクル事業」を、今年も剛志地区文化祭の日に行いました。昨年度から引き継いだ品物もあり、全部で 158 点を並べて、71 点の持ち帰りをしていただきました。アンケートには、「とてもありがたいので、継続して欲しい。」「あと数ヶ月で卒業の時に新しいものを購入しなくてすむので、ありがたい。」と大変好評ですので、今後とも継続していきたいと思います。

10 月・11 月中に、4 回にわたり、公民館サークルの作品展を兼ねた、学校公開を行いました。学校公開は、地域の皆様に生徒の様子を知っていただく良い機会です。今後また、学校公開の機会がありましたら、ぜひご来校ください！

